

桂川町の財務諸表を公表します

平成18年6月に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が成立し、同法を踏まえ、地方公共団体の資産・債務負担改革の一環として、財務諸表を整備することが求められております。桂川町では、平成21年度決算時より、企業会計的な手法を取り入れた財務諸表4表(貸借対照表(=バランスシート)、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)の作成を行っております。この度は、昨年度に引き続き、総務省方式改訂モデルによる平成24年度普通会計財務諸表を公表いたします。今後も桂川町では、財務諸表の作成を継続して行い、行財政へ活用していきます。また、町民の皆さまへはわかりやすい行財政の情報開示に努めてまいります。

貸借対照表

貸借対照表とは

現在までに桂川町がどれくらい土地や建物、現金などの資産を所有しており、一方で地方債などの将来世代の負担がどれくらいあるのかを明らかにしてくれるのが、「貸借対照表」です。

左右の合計額が等しいこと、現時点の資産と負債などの残高(=バランス)を示していることからバランスシートとも呼ばれます。

桂川町の貸借対照表(総額)

(単位:億円)

	資産の部				負債の部		
	H24	H23	年度間の変動		H24	H23	年度間の変動
1. 公共資産	158.7	160.1	△ 1.4	1. 負債合計	58.6	58.2	0.4
2. 投資等	17.9	18.9	△ 1.0	純資産の部 (資産-負債)			
3. 流動資産	9.0	7.6	1.4	1. 純資産合計	127.0	128.4	△ 1.4
資産合計	185.6	186.6	△ 1.0	負債・純資産合計	185.6	186.6	△ 1.0

桂川町の貸借対照表(住民1人あたり) ※年度末(3月31日)時点の人口で算定

(単位:万円)

	H24	H23	年度間の変動		H24	H23	年度間の変動
資産合計	131.0	132.5	△ 1.5	負債合計	41.4	41.3	0.1
				純資産合計	89.6	91.2	△ 1.6

貸借対照表の区分

資産: 桂川町が所有する、道路や学校、現金などの資産の総額を表しています。

負債: 地方債などの借金や、退職手当引当金などの将来負担額を表しています。

純資産: 資産から負債を差し引いた金額です。

桂川町では、約185.6億円の資産を所有しており、住民1人あたりでは、約131.0万円であることがわかりました。

一方、負債額は約58.6億円あり、住民1人あたりでは約41.4万円であることがわかりました。

資産から負債を差し引いた純資産額は約127.0億円あり、これらは現在までの世代によって支払いが済まされた部分になります。

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは

福祉サービスの提供やごみの収集など、桂川町の行政サービスに1年間に費やしたコストと、それらのサービスに対して、使用料などの住民の皆さまからお支払いいただいた負担額との関係を確認することができます。

桂川町の行政コスト計算書(総額、住民1人あたり) ※年度末(3月31日)時点の人口で算定

	総額 (単位:億円)			住民1人あたり (単位:万円)		
	H24	H23	年度間の変動	H24	H23	年度間の変動
1. 人にかかるコスト	9.7	10.3	△ 0.6	6.9	7.3	△ 0.4
2. 物にかかるコスト	13.6	14.0	△ 0.4	9.6	9.9	△ 0.3
3. 移転支出的なコスト	21.6	22.3	△ 0.7	15.2	15.9	△ 0.7
4. その他のコスト	0.6	0.4	0.2	0.5	0.3	0.2
経常行政コスト合計 (A)	45.5	47.0	△ 1.5	32.2	33.4	△ 1.2
経常収益合計(B)	2.1	2.2	△ 0.1	1.5	1.6	△ 0.1
純経常行政コスト (A)－(B)	43.4	44.8	△ 1.4	30.7	31.8	△ 1.1

行政コストの区分

- 人にかかるコスト
人件費など
- 物にかかるコスト
維持補修費や委託料など
- 移転支出的なコスト
障がい者福祉にかかる扶助費や、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険への繰出金など
- その他のコスト
公債費の利子の支払いなど

桂川町では行政サービスの提供のために、1年間に約45.5億円経常行政コストを費やしており、一方で、サービスの受益者によって約2.1億円の収益を得ています。

これを、住民1人あたりに換算すると、1年間に約32.2万円の経常行政コストを費やし、約1.5万円の収益を得ることになります。

そのため、約30.7万円の財源不足が生じ、地方税や交付税などの財源を補てんすることになります。

純資産変動計算書

桂川町の純資産(貸借対照表の資産と負債の差額)が1年間でどのように変化したのかを明らかにします。

(単位:億円)

	H24	H23	年度間の変動
期首純資産残高	128.4	126.9	1.5
経常行政コスト	△ 43.4	△ 44.8	1.4
経常収入	45.2	48.5	△ 3.3
臨時損益	△ 1.3	△ 2.1	0.8
その他	△ 1.9	△ 0.1	△ 1.8
期末純資産残高	127.0	128.4	△ 1.4

○桂川町では、前年度に比べ純資産が減少しました。

資金収支計算書

桂川町の一年間の収入と支出が、どのように変化しているかを、性質別に区分して整理したものです。

(単位:億円)

	H24	H23	年度間の変動
期首資金残高	1.9	2.0	△ 0.1
1. 経常的収支	10.1	9.5	0.6
2. 公共資産整備収支	△ 1.9	△ 2.1	0.2
3. 投資財務的収支	△ 8.1	△ 7.5	△ 0.6
当年度資金増減額	0.1	△ 0.1	0.2
期末資金残高	2.0	1.9	0.1

○桂川町では、前年度に比べ年度末時点の歳計現金は増加しました。